

子宮頸がんワクチン（HPV ワクチン）

「キャッチアップ接種」のご案内

★当院ではキャッチアップ接種のみお申込みができます。

子宮頸がんは、子宮頸部にできるがんであり、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が大きな原因と考えられています。30代～40代の女性に多く、20代～30代の女性で増加傾向にあります。現在日本では年間約10,000人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が命をおとしています。

当院では公費負担で無料接種できる HPV ワクチンとして「シルガード9」を使用しています。

「シルガード9」は、ワクチンに含まれる HPV 型を9種類含んだ以前より予防効果の高いワクチンで子宮頸がんの原因の80～90%を防ぎます。

<キャッチアップ接種について>

誕生日が **1997（平成9）年4月2日～2008（平成19）年4月1日**の女性の中に、通常の HPV ワクチンの定期接種の対象年齢の間にワクチン3回接種完了を逃した方がいらっしゃいます。

その対象者は **2022（令和4）年4月～2025（令和7）年3月末までの3年間で救済処置(キャッチアップ接種)として、無料で接種できます。**

しかし3回の接種を完了するまでの期限がせまっていますので、標準的スケジュールの場合、3回接種を完了するには **2024年9月末までに1回目を接種する必要があります。**

公費接種期限を過ぎると、9価 HPV ワクチン接種には3回接種で約10万円の接種費用がかかります。

<ご注意事項>

- ・当院では、14歳未満の方のワクチン接種は原則として実施しておりません。
15歳以上の方におきましても、未成年者の場合のワクチン接種には保護者の同意が必要となります。
- ・接種日当日に保護者と共にご来院いただくか、問診票に保護者のサインが必須となります。
サインがない場合はお断りさせていただきますのでご注意ください。
- ・**原則、接種日の変更以外のキャンセルはお断りさせていただきます。**
- ・ワクチン接種後に、接種部位の痛みや腫れ、赤身などが起こる場合があります。
また、まれに重い症状がおこる場合があります。
- ・予防接種を受ける際は、ワクチンの有効性とリスクを十分に理解したうえでご判断ください。
- ・希望される方はなるべく早く接種しましょう。